

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 外国語(英語) 科目 論理表現Ⅱ

教 科： 外国語(英語) 科 目： 論理表現Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： ( Vision Quest New English Grammar Hope )

- 教科 外国語(英語) の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】言語や文化に対する理解を深める
  - 【思考力、判断力、表現力等】論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う
  - 【学びに向かう力、人間性等】コミュニケーションを図ろうとする態度を養う

科目 論理表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 ( や )	話 ( 発 )	書					
1 学 期	【知識及び技能】 ・文型、英語語法について学んで理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文型、英語語法を用いて文を作り表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分のことを表現するために、主体的かつ協働する姿勢が見られる。伝えることを意識して文章を書いている。	伝えるための表現活動（場面設定におけるやりとり、発表、書くこと）において、以下の文法事項を活用し、論理的に情報を伝える表現を学ぶ。 動詞の語法、文型 時制	○	○	○	○	○	・様々な形の英語の表現を理解する。 ・英語の語法に慣れる ・様々な時制の表現を理解することができる。 ・様々な時制を使って自分の言いたいことを表現できる。				8
	中間考査		○	○	○	○	○		○	○		1
	【知識及び技能】 助動詞・受動態を用いた表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞・受動態を用いた表現を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分のことを表現するために、主体的かつ協働する姿勢が見られる。伝えることを意識して文章を書いている。	伝えるための表現活動（場面設定におけるやりとり、発表、書くこと）において、以下の文法事項を活用し、論理的に情報を伝える表現を学ぶ。 助動詞 受動態	○	○	○	○	○	・助動詞・受動態の基本的な形と意味を覚える。 ・助動詞・受動態を使う場面を理解し、適切に使うことができる	○	○	○	9
	【知識及び技能】 準動詞を用いた表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 準動詞を用いた表現を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分のことを表現するために、主体的かつ協働する姿勢が見られる。伝えることを意識して文章を書いている。	伝えるための表現活動（場面設定におけるやりとり、発表、書くこと）において、以下の文法事項を活用し、論理的に情報を伝える表現を学ぶ。 不定詞 動名詞 分詞	○	○	○	○	○	・準動詞の基本的な形と意味を覚える。 ・準動詞の場面に応じて適切に使うことができる。 ・条件にそってエッセイを書くことができる	○	○	○	9
	期末考査		○	○	○	○	○		○	○		1
2 学 期	【知識及び技能】 ・関係代名詞、関係代名詞について学んで理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関係代名詞を用いて地域、時間理由に関する文を作り表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分のことを表現するために、主体的かつ協働する姿勢が見られる。伝えることを意識して文章を書いている。	伝えるための表現活動（場面設定におけるやりとり、発表、書くこと）において、以下の文法事項を活用し、論理的に情報を伝える表現を学ぶ。 関係詞 複合関係代名詞	○	○	○	○	○	・文章に応じて、正しい関係代名詞、関係副詞を選択できるようにする when, where, why, how, -ever など ・関係代名詞、関係副詞 when, where, why, how, -ever などについて学んで理解する。 ・関係代名詞を用いて文を作る。 ・英文を聞いて正しく理解し、状況を判断できる。 ・条件にそってエッセイを書くことができる				13
	中間考査		○	○	○	○	○		○	○		1
	【知識及び技能】 原級・比較級を用いた表現、最上級を用いた表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 原級・比較級を用いた表現、最上級を用いて文を作り表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分のことを表現するために、主体的かつ協働する姿勢が見られる。伝えることを意識して文章を書いている。	伝えるための表現活動（場面設定におけるやりとり、発表、書くこと）において、以下の文法事項を活用し、論理的に情報を伝える表現を学ぶ。 さまざまな比較の表現 比較を使った構文	○	○	○	○	○	・比較の3つの級の基本的な形と意味を覚える。 ・それぞれの級の書き換えができるようにする ・比較について学んで理解する。 ・比較を用いて文を作る。	○	○	○	13
	期末考査		○	○	○	○	○		○	○		1
3 学 期	【知識及び技能】 仮定法について学んで理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・直説法と仮定法仮定法過去 仮定法過去完了未来を表す仮定法を用いて文を作り表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分のことを表現するために、主体的かつ協働する姿勢が見られる。伝えることを意識して文章を書いている。	伝えるための表現活動（場面設定におけるやりとり、発表、書くこと）において、以下の文法事項を活用し、論理的に情報を伝える表現を学ぶ。 直説法と仮定法仮定法過去 倒置、ifを使わない仮定法 仮定法を使った構文	○	○	○	○	○	・仮定法の基本的な用法を身につける If S+V(過去形)～仮定法の様々な用法を習得する I wish /as if /if it were not for～ ・仮定法について学んで理解する。 ・仮定法を用いて文を作る。 ・条件にそってエッセイを書くことができる				13

[illegible]